平成１２年８月９日
日本原子力発電株式会社

東海第二発電所の運転再開について

当社、東海第二発電所（沸騰水型軽水炉、電気出力１１０万キロワット）は、定常運転中のところ、８月８日１６時０５分、落雷によると思われる外部電源喪失により原子炉が自動停止しました。
現在点検を実施中であります。
なお、本事象による環境への影響はありません。
また、非常用炉心冷却系（ＥＣＣＳ）の作動はありません。
（８月８日発表済み）
調査の結果、東海第二発電所と那珂変電所間の送電線に落雷があり保護継電器が作動したことにより原子炉が自動停止したものと判明しました。
その後、発電設備の点検を実施し、異常の無いことが確認できましたので、８月１０日６時に、原子炉を起動し、運転を再開することといたします。

以上

外部電源喪失　：　送電線又は開閉所母線の故障等により発電所が受電する送電線の電源が喪失する事象
保護継電器　：　電気的故障を敏速に判別し、回路を遮断する等して機器の損害を抑制する継電器